

## クロスデバイス同期

長い間、私はコンピュータとスマートフォン間でファイルやテキストを同期するために、WeChatのファイルヘルパーに大きく依存していました。しかし最近、ChatGPTやKimi Chatのようなチャットボットも、デバイス間で情報を同期するための効果的なツールとして利用できることに気づきました。

基本的な原理はシンプルです：もしソフトウェアのMac版やiOS版が同期機能をサポートしているなら、それを利用してデータをシームレスに同期させることができます。例えば、私のUbuntuコンピュータでは、VPN接続が失敗した際に、外国のネットワークにアクセスを復元するためにShadowsocksのURLを共有する必要があります。WeChatのウェブ版を使うのも良いですが、最近Kimi Chatを試してみたところ、同じくらい便利だと感じました。以下にその仕組みを説明します：

1. 私は携帯電話からShadowsocksのURLをKimi Chatに共有しました。
2. UbuntuコンピュータでKimi Chatのウェブ版にログインしました。
3. ShadowsocksのURLはすぐにアクセス可能になりました。

この方法はテキストに限定されません。プロフィールアバター機能は、デバイス間で画像を共有するためにも使用できます。画像を共有できるなら、ほとんど何でも共有できるということです。例えば、QRコードを使ってテキストを効率的にエンコードし転送することも可能です。

さらに深く考えてみると、これは単にアプリの特定の機能についてではなく、共有フィールドやAPIの概念に関わることです。もしあるフィールドの値がコンピュータとモバイルアプリ間で同期できるのであれば、そのフィールドを利用してデータを共有することが可能です。例えば、X（旧Twitter）のようなアプリのリンクフィールドは、デバイス間でURLを共有するために使うことができます。このアプローチは、同期ツールの多様性を浮き彫りにし、デバイス間のギャップを埋めるためのシンプルで効果的な方法を提供します。